

出版物一覧

書名		発行年月
●学術論文誌		
『日本研究』（一九八九年創刊）		
日文研が年二回定期的に刊行する学術論文集で、日本文化研究の発展に寄与する内容であれば、誰でも投稿可能。投稿論文は審査委員による査読のうえ掲載。第五四集まで既刊。		
『JAPAN REVIEW』（一九九〇年創刊）		
日文研が刊行する英文の学術雑誌で、優れた研究論文、研究ノート、書評論文を常時募集。過去と現在の日本文化の研究に関わっていれば誰でも投稿可能。応募原稿は、審査員による査読のうえ掲載。第二九集まで既刊。		
『日文研叢書』（一九九三年創刊）		
日本研究に関する書き下ろしの論考シリーズ。日文研の専任教員や客員研究員が主催したシンポジウムの記録や共同研究会の成果、日文研所属の若手研究者の個人研究、あるいは貴重資料集成などを含む。第五五集まで既刊。		
『Nihonbunken Monograph Series』（一九九八年創刊）		
日文研における研究活動の最良の成果で単著のオリジナルな学術論文の英文モノグラフシリーズ。執筆者は日文研専任教員等。第一九集まで既刊。		

● 研究活動報告書

『国際研究集会報告書』（一九八九年創刊）

日文研が主催した国際研究集会において発表・討議された内容を収録。第四五集まで既刊。

『海外シンポジウム報告書』（一九九七年創刊）

海外で行われた国際シンポジウムで発表・討議された内容を収録した報告書。第二三集まで既刊。

『世界の日本研究』（一九九〇年創刊）

世界の日本研究に関する情報を掲載している不定期出版物。第一九集まで既刊。

『日文研フォーラム報告書』（一九八八年創刊）

来日中の外国人研究者が日本に関連したテーマについて発表した内容を記録編集した報告書。随時刊行で第二七六回まで既刊。

〈共同研究報告書〉

日文研共同研究の総括報告書。商業出版含む。

『藝文 第1巻 〈藝文社版〉 1巻1号』ゆまに書房（監修：呂元明、鈴木貞美、劉建輝）

『伝統工藝再考 京のうちそと——過去発掘・現状分析・将来展望』思文閣出版（編：稲賀繁美）

『語義的文化変遷』武汉大学出版社（編：冯天瑜、（日）刘建辉、聂长顺）

『関西モダンズム再考』思文閣出版（編：竹村民郎、鈴木貞美）

『王権と都市』思文閣出版（編：今谷明）

A NEW JAPAN FOR THE TWENTY-FIRST CENTURY: An Inside Overview of Current Fundamental Changes and Problems, Rien T. Segers, Editor, Routledge

- 『公家と武家Ⅳ——官僚制と封建制の比較文明的考察』思文閣出版（編：笠谷和比古）  
08年3月
- 『関西を創造する』和泉書院（編：千田 稔）  
08年3月
- 『死の儀法——在宅死に見る葬の礼節・死生観』ミネルヴァ書房（編著：近藤功行、小松和彦）  
08年3月
- 『戦間期日本の社会集団とネットワーク——デモクラシーと中間団体』N T T出版（編著：猪木武徳）  
08年3月
- 『終わりにきれない「近代」——八木一夫とオブジェ焼』美学出版（編：樋田豊郎、稲賀繁美）  
08年4月
- 『性欲の文化史1』講談社（編：井上章一）  
08年10月
- 『性欲の文化史2』講談社（編：井上章一）  
08年11月
- 『幸田露伴の世界』思文閣出版（共編：井波律子、井上章一）  
09年1月
- 『日本の朝鮮・台湾支配と植民地官僚』思文閣出版（編：松田利彦、やまだあつし）  
09年3月
- 『性的なことば』講談社（編：井上章一、斎藤 光、澁谷知美、三橋順子）  
10年1月
- 『コモンズと文化——文化は誰のものか』東京堂出版（編：山田埜治）  
10年3月
- 『妖怪文化の伝統と創造——絵巻・草紙からマンガ・ラノベまで』せりか書房（編：小松和彦）  
10年9月
- 『一八世紀日本の文化状況と国際環境』思文閣出版（編：笠谷和比古）  
11年8月
- 『都市歴史博覧——都市文化のなりたち・しくみ・たのしみ』笠間書院（編著：白幡洋三郎、錦 仁、原田信男）  
11年12月
- 『アジア女性と親密性の労働』京都大学学術出版会（編：落合恵美子、赤枝香奈子）  
12年2月
- 『民謡からみた世界音楽——うたの地脈を探る』ミネルヴァ書房（編著：細川周平）  
12年3月
- 『宮澤賢治の深層——宗教からの照射』法蔵館（編：プラット・アブラハム・ジョージ、小松和彦）  
12年3月
- 『東洋意識——夢想と現実のあいだ——1887-1953』ミネルヴァ書房（編著：稲賀繁美）  
12年4月
- 『日本の近代化とプロテスタンティズム』教文館（編：上村敏文、笠谷和比古）  
13年3月

- 『地域社会から見る帝国日本と植民地——朝鮮・台湾・満洲』 思文閣出版 (編：松田利彦、陳 延媛) 13年3月
- 『デジタル人文学のすすめ』 勉誠出版 (編：楊 曉捷、小松和彦、荒木 浩) 13年7月
- 『帝国日本と植民地大学』 ゆまに書房 (編：酒井哲哉、松田利彦) 14年2月
- 『Vocabulaire de la spatialité japonaise 日本 の生活空間』 CNRS Editions (編：Philippe Bonnin、西田雅嗣、稲賀繁美) 14年3月
- 『近代日本のリーダーシップ——岐路に立つ指導者たち』 千倉書房 (編：戸部良一) 14年3月
- 『妙貞問答を読む——ハビアン の 仏教批判』 法蔵館 (編：末木文美土) 14年3月
- 『東アジアにおける近代知の空間の形成』 東方書店 (編著：孫 江、劉 建輝) 14年3月
- 『『作庭記』 と日本の庭園』 思文閣出版 (編：白幡洋三郎) 14年3月
- 『近代日本の公と私、官と民』 NTT出版 (編著：猪木武徳、マルクス・リュッターマン) 14年10月
- 『ザ・タイガース研究論——昭和40年代日本のポピュラー音楽の社会・文化史的分析』 近代映画社 (編：磯前順一、黒崎浩行) 15年3月
- 『徳川社会と日本の近代化』 思文閣出版 (編：笠谷和比古) 15年3月
- 『建築と権力のダイナミズム』 岩波書店 (編：御厨 貴、井上章一) 15年3月
- 『日記・古記録の世界』 思文閣出版 (編：倉本一宏) 15年3月
- 『異人論とは何か——ストレンジャーの時代を生きる』 ミネルヴァ書房 (編：山 泰幸、小松和彦) 15年3月
- 『夢見る日本文化のバラダイム』 法蔵館 (編：荒木 浩) 15年5月
- 『角倉一族とその時代』 思文閣出版 (編：森 洋久) 15年7月
- 『万国博覧会と人間の歴史』 思文閣出版 (編：佐野真由子) 15年10月
- 『比較思想から見た日本仏教』 山喜房佛書林 (編：末木文美土) 15年12月
- 『「心身／身心」と環境の哲学——東アジアの伝統思想を媒介に考える——』 汲古書院 (編：伊東貴之) 16年3月
- 『大衆文化とナシヨナリズム』 森話社 (編：朴 順愛、谷川建司、山田奨治) 16年5月

『越境と連動の日系移民教育史——複数文化体験の視座——』ミネルヴァ書房（編著・根川幸男、井上章一）

『戦後映画の産業空間 資本・娯楽・興行』森話社（編・谷川建司）

『海賊史観からみた世界史の再構築——交易と情報流通の現在を問い直す』思文閣出版（編・稲賀繁美）

# ●広報物

『日文研』（一九八八年創刊）

年二回発行する和文広報誌。専任教員、外国人研究員等のエッセイ、研究活動、研究協力活動の報告、共同研究会の記録等を収録。第五九号まで既刊。

『NICHIBUNKEN NEWSLETTER』（一九八八年創刊）

年二回発行する和英併記の広報誌。日文研に関係する研究者のエッセイ、催し物などの活動状況等を収録。第九五号まで既刊。

# ●その他の出版物

『海外日本像集成』（二〇〇七年創刊）

幕末から明治にかけて外国人が執筆した日本旅行記や研究書に掲載されている挿絵のみを集めた図版集。第五冊まで既刊。

『異邦人のまなざし』（二〇〇七年創刊）

『海外日本像集成』と同様に、一八五〇年代から一九〇〇年頃までに出版された「外国語で書かれた日本研究書」（略して「外書」）の挿絵を、「富士山」「芸者」「子ども」など、テーマ別に抽出し編集したカラー図版シリーズ。

第一〇輯まで既刊。

16年6月  
16年7月  
17年2月

〈翻訳出版協力プロジェクト〉

日本文化の理解を助けるために、日本語による文献（古典および近代の古典、改訳を含む）を諸外国語で翻訳し、学術出版するためのプロジェクト。企画を公募し、厳正なる審査のうえ毎年一〜二件程度採択し、現在までに世界各国で一〇冊の翻訳書が出版された。

『民間伝承論・郷土生活の研究法』学苑出版社（著：柳田国男 訳：王 曉葵、王 京、何 彬）

『十返舎一九作品選集』ソミョン出版（著：十返舎一九 訳：康 志賢）

『明治の文化』Nawatez Society（著：色川大吉 訳：NOUREI Nahas）

『風土』CNRS ÉDITIONS（著：和辻哲郎 訳：オギュスタン・ベルク）

『一揆』CNRS ÉDITIONS（著：勝俣鎮夫 訳：ビエール・フランソワ・スイリ、印出忠夫、中島圭一）

『宮澤賢治作品集』サナービル・ブックス（著：宮澤賢治 訳：マーヒル・エルシリビーニ）

『漢訳与謝蕪村俳句集』人民文学出版社（著：与謝蕪村 訳：王 岩）

『宣告』Éditions Matériologiques（著：加賀乙彦 訳：笠井かおり）

『曾我物語』ギベリオン（訳：オニスチエンコ・ヴァチャスラヴ）

『今昔物語集 卷第十一〜卷第十九』社会科学出版社（訳：グエン・ティ・オワイン、チャン・ティ・チュン・トアン、

ダオ・フォン・チ）

〈所蔵図書目録類〉

国際日本文化研究センターに所蔵している図書、資料の目録。

『日中文庫目録 The Japan-China Library Collection Catalogue』

『海野文庫目録 Catalogue of the Umno Collection』

10年2月  
10年5月  
11年  
11年1月  
11年9月  
14年3月  
15年3月  
16年1月  
16年8月  
16年11月  
13年3月  
11年3月